

LIBERAL&DEMOCRATIC

# 自由民主

発行所  
自由民主党本部  
郵便番号 100-8910  
東京都千代田区永田町 1-11-23  
電話 東京 03(3581)6211(代表)  
<毎週火曜日発行>



自由民主党ホームページ URL <http://www.jimin.jp/>

東京・墨田の発展に向け活動する川松真一郎さんは、東京都政に臨む決意を力強く語っています。

## 墨田モデル 特集号

### 川松都議&山本区長 (墨田区)

#### 特別対談

### 都民税 20%減税を公約に

### 自民党へ 73 歳定年制を申し出

衆議院比例選挙候補者公認基準における73歳定年制を堅持

東京都議会議員

# 川松 真一郎 さん



## 「医療を守る。雇用を守る。墨田を守る。」

### 墨田モデルは何故実現できたか

墨田区では6月1日に16歳から64歳までの全ての方々へワクチン接種券の発送を行いました。このスピード感は全国から注目を集めています。年明けに着手した転院調整など、同区のコロナ対策は「墨田モデル」と呼ばれています。この強い体制は昨年春からの1つ1つの積み重ねがありました。今回は山本亨区長が川松さんとのタッグ無くして実現は出来なかったと語る2人の特別対談を行いました。両者は「医療を守る。墨田を守る。」と決意しています。

(対談は裏面で)

### 都民税減税 20%を実現させる

令和3年3月11日の都議会予算特別委員会で川松真一郎さんが小池百合子知事に減税を断行し都民の可処分所得アップを目指すべきだと提言を行いました。都議会自民党としても6月8日に行われた都議選に向けての公約発表で「減税」を政策の柱にする事が発表されました。記者会見で川松さんは「減税の財源は、政治と行政が本気になれば必ず実現できる。都の流動資産は1兆円、都債発行余力も1兆円ある。東京で減税実現の為には政府にも積極的に掛け合っていくのは我々の使命だ。」と話しました。

### 自民党青年部長として聖域なき発信

川松さんは令和2年2月に第25代自民党東京都連の青年部長に就任致しました。40歳以下の区市町村議員、党員党友の中から投票で選出されたものです。東京ブロックの代表として中央常任委員会に参加し全国の青年世代と様々な政策提言を行っています。

自民党青年局は令和3年になって二階幹事長ら党執行部に「ブロック会議を踏まえた申し入れ」を行いました。この中のトップ項目には「衆議院比例選挙候補者公認基準における73歳定年制を堅持すること。」を置き、「新しい風を自民党や政治に」という思いを込め様々な取り組みを要請致しました。こういった青年局の思いを党執行部は重く受け止めるとの事でした。

 コロナ感染症対策!	 守る 攻める 経営・企業 景気・経済 中小企業の実感ある景気回復!
 今こそ 減税 都民税 -20%! 事業所税 -50%! 減税で経済を再生する!	 雇用を守り抜く

### 自民党に新しい風を!!

## 川松真一郎さん Profile

1980年(昭和55年)12月8日生まれ  
両国小、両国中、両国高卒業  
日本大学法学部法律学科卒業・岩井奉信ゼミ  
米ジョージタウン大学第7回日米リーダーシッププログラム修了  
自民党東京都連青年部長(25代)  
墨田区バドミントン連盟会長、墨田リトル・シニア野球協会会長  
墨田区ラグビー協会顧問

テレビ朝日では(2003~11)アナウンサーとして活躍。  
「ワイド!スクランブル」「スーパーJチャンネル」リポーターやスポーツ中継に携わる。

2013年都議に初当選、現在2期目で、  
都議会自民党コロナ対策プロジェクトチーム社会混乱解決担当リーダーとして奔走。

都政と国政のパイプ役としてフル稼働。  
「東京や墨田区の立場を全力で主張」。

新 型  
コロナ

## ワクチン接種円滑化に全力。東京の未来を切り拓く

# 特別対談

東京都議会議員 **川松真一郎**さん  墨田区長 **山本 亨**さん

墨田区は全国の政令市、県庁所在地を含め最も早く対象者への接種券発送を終了しました。

## 「墨田モデル」成功と呼ばれる要因

**川松** 区長として、この墨田モデルと呼ばれるまでに成功した最大の要因は何だと思いますか？

**山本** まず区民を思い浮かべて、全てにおいて区民の皆さんに安心して頂く為にコロナ対策やワクチン接種体制作りをしっかりとしたこと。先手を取って、区役所としてチームワークよく動いてきたことですね。思い起こすと昨年4月10日にPCR検査センターを区役所のリバーサイドホールで、あの当時、思い切って開設をした成果が原点です。勿論、川松さんにも色々な形で支援して頂いているんですけど。

**川松** 医師会との連携も迅速かつ深いものでしたね。

**山本** これは墨田ならではの、墨田区医師会の皆さんが色々な協力と理解をして頂いて、区民のために一緒になって汗をかいてくださっています。そして、検査センター開設とほぼ同じ時期に民間の検査会社を誘致できた事は区民の安心に繋がったと思っています。

## 一朝一夕で出来上がったものではない「墨田モデル」

**山本** そこまでの試行錯誤は、正直なところたくさんありました。これも川松さんと色々やった墨東病院クラスターみたいな危機的状況など、区民生活への影響を念頭に、再発させないようにと動いてきましたよね。

**川松** 検査結果をとにかく早く出す事を心がけて検査機械も導入し、今や変異株を見つける体制も確立しました。

**山本** インドで最初に確認された変異株「デルタ」も早く見つけられる体制を急ぎました。

**川松** そんな中で年末年始の拡大の波を迎えた頃、東京都福祉保健局や厚生労働省の情報収集や調整をしては、常に私は区長と電話していましたよね。

**山本** ここは、やっぱりチームワークと助け合い、支え合いみたいなところがありました。

**川松** 年が明けて区長はすぐに区役所内の保健所職員の数を大きく増やしましたよね。

**山本** 体制整備を急ぎました。全体的に約80名ぐらいです。



## 墨田区と医師会との綿密な連携

**川松** 更に、年末年始に課題となったのが「転院調整」でした。例えば、墨東病院に高齢者施設クラスターから入院された方が施設に戻ろうとする場合、施設側から、本当に大丈夫ですかという声が出たんですよね。今まだ戻されるのは心配だと。そこで、区内の各病院にも回復期の方の転院受入をお願いしたのでした。入院待機者目詰まりの解消モデルとし全国から注目されましたが、これも行政としては当たり前の事を模索した結果ですよ。

**山本** これも日頃から墨東病院以外に区内に7つある東京指定二次救急医療機関の方々と綿密な連携があったからこそ、地域完結型病棟・病床を提案できました。回復期病床を整備してからは入院を必要とする方の入院待機がゼロになりました。

**川松** これは当時、山本区長の判断で、財源は墨田区独自でやると決めたのが、このモデルには都からの財政支援制度も後追いで出来上がってきました。

## ワクチン計画は半年前から

**川松** 一方で区長の下では、12月1日にワクチン供給体制の準備に着手しました。この早さが全てですね。

**山本** はい。ワクチン担当部長を設置したのが12月1日ですから、ほぼ6ヶ月経っているという状況です。

**川松** 当時、墨田区は「早すぎじゃないの」と揶揄されたものです。

**山本** 墨田区だったらどういったシミュレーションでいくっていうことを12月段階から始めているということが一つの強みとなりましたよね。

**川松** そのワクチンは国から東京都、それから各自治体へ配分が決まっていく仕組みです。準備が万全だったから、最初から「大丈夫です。どんどん送って下さい。」と言えたからこそ今があります。

**山本** 大事なことはブレない。それから早めに我々は動いていたので、色々なシミュレーションができました。

## 議会の新しい形

**川松** 墨田モデルという点でいくと、区長と議会との関係もかなり良かったです。

**山本** 墨田区議会が、議会改革の真っ只中で通年議会として、1年間議会が開催されています。このおかげで色々な議論ができ、厳しい指摘もありました。

**川松** 更に、墨田区議会が当時の樋口議長、佐藤副議長を中心に政党ごとではなく議会として一致団結した行動を取った事も大きかったですよね。

**山本** 議会の知恵です。個別に要望を頂戴すると区議32人からもらう事になり、時間や職員の負担が増えます。議長、副議長を中心に要望をまとめていただいて、どこそこの政党ではなく「議会として」5回の要望を協議しました。今こうして墨田区が評価を頂けているのは、議会の皆さんのご協力も大きかったと思います。

**川松** 樋口議長が自民党さんどうですか？〇〇党さんどうですかって丁寧に聞いて、まとめて議会全体として区長に提案していくっていう体制は都議会も見習うべきだと考えています。

**山本** 当然、議会要望には反映されなかった少数意見もありますが、区長として、漏れのないよう日頃の情報収集や調査を抜かりなく行っています。



—この対談では、コロナ対応だけでなく、墨田区の教育改革、産業振興、都有地活用(旧本所警察署跡地、旧墨田川高校堤校舎跡地など)はじめ、2人の墨田区への熱い思いが語られました。強力なタッグによって、「墨田モデル」は先手先手で推進していきます。

## 川松さんの確かな実績に期待します。



舌鋒鋭く都政をただす、川松真一郎さんが引き続き活躍できるよう、皆さんのご指導をお願いします。

衆議院議員 **松島みどり**